

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院における菊池病症例の臨床的特徴と診断遅延要因の検討：後方視的観察研究

[研究責任者] 長崎医療センター 総合診療科 医師 原田 英鷹

[研究の背景]

菊池病は、発熱や首のリンパ節の腫れを主な症状とする病気です。多くの場合は良性で、時間の経過とともに自然に良くなることが知られています。

一方で、症状だけでは、悪性リンパ腫などの血液の病気、結核や伝染性単核球症などの感染症、全身性エリテマトーデスなどの膠原病と区別が難しいことがあります。そのため、診断のためにリンパ節の一部を採取して調べる「リンパ節生検」が行われることがあります。菊池病は症状の出方がさまざまで、初めて医療機関を受診した時点では、感染症や悪性疾患の可能性を考えて検査や治療が行われることもあります。

これまでの研究では、年齢や性別による違い、再発する患者さんと再発しない患者さんの違い、全身性エリテマトーデスとの関連などが報告されています。しかし、症状が出てから医療機関を受診し、最終的に菊池病と診断されるまでに、どのような検査や診療が行われたのかという「診断までの経過」に注目した研究は多くありません。

[研究の目的]

本研究では、菊池病と診断された患者さんの診療録を振り返り、症状が出てから医療機関を受診し、診断に至るまでの経過を調べます。特に、どのような症状や検査結果がある場合に菊池病と診断されやすいのか、また、どのような特徴がある場合に感染症、悪性リンパ腫、膠原病などとの区別が難しくなり、診断までに時間を要するのかを明らかにすることを目的としています。この研究により、菊池病が疑われる患者さんに対して、より適切な検査や専門診療への紹介につなげ、診断の遅れや不要な検査・治療を減らすための手がかりを得ることを目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2015 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターで菊池病（組織球性壊死性リンパ節炎）の診断を受けた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2027 年 3 月 31 日まで

## ●利用するカルテ情報

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、病理検査）、治療経過

## ●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

### [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

総合診療科 医師 原田 英鷹

電話番号：0957-52-3121（代表）